

令和5年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力  
「マリシュカ村及びゲatap村灌漑用水路整備計画」  
贈与契約署名式の実施

令和5年10月12日、草の根・人間の安全保障無償資金協力「マリシュカ村及びゲatap村灌漑用水路整備計画」（供与限度額：76,931米ドル（10,539,547円））の贈与契約署名式が、ヴァヨツ・ゾル州イエゲグナゾール市庁舎において開催されました。本式典では、福島正則駐アルメニア日本国大使とダヴィト・ハルチュニャン・イエゲグナゾール市長との間で贈与契約への署名が行われ、ヴァルダン・アヴァギャン第一副市長、イェルヴァルド・ガルスチャン・ゲatap村長他近隣集落の長が出席しました。

本案件は、イエゲグナゾール市のマリシュカ村及びゲatap村の既存の農業用水路約898mを改修整備することで、両村の農地全域に水を行き渡らせ、適切な農業の営みを確保することを目的としています。また、漏水を最小限に抑え水資源の効率的利用を図り、用水の住宅浸水や、灌漑整備の欠陥に起因する健康被害の改善にも貢献します。本案件の実施により、両村住民約7,000人が裨益します。



福島大使のスピーチ



贈与契約に署名する  
福島大使とハルチュニャン市長



保護のない既存の排水溝



排水溝からの浸水によって損傷が進んでいる  
幼稚園の外壁